

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	数学
教科担当			
教科書名	東京書籍【新しい数学】		
副 教 材			

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。			
--	--	--	--

1 (数学) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。
評価の観点	(1) 数量や図形などについての基礎的な考え方を理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。(知識・技能) (2) 数学を活用して事象を論理的に考え数量や図形の性質を発展的にとらえ事象を的確に表現することができる。(思考力・判断力・表現力) (3) 数学のよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
評価方法	(1) 毎学期の定期テストや単元テスト、小テストの得点、授業中のノートやワークシートの記述を総合して評価します。 (2) 評価の観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」です。 (3) 定期テスト、単元テスト、小テスト後の誤答レポートやその他のレポートを評価基準を元に評価する。

2 (数学) 科の学習について

授業の進め方の	(1) 課題を提示し、課題に対して自ら考えたり、級友と考えたりする時間を確保する。 (2) 教師の指示や説明は簡潔にし、対話を重視しながら授業を進めていく。 (3) ICT等を使用し、視覚的に伝わりやすいような提示の仕方を心がける。 (4) きれいな板書に励み、聞くとときと書くときの時間のメリハリをつける。
定期テスト	(1) 授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題されます。 (2) テスト範囲は、定期テスト2週間前までに伝えます。 (3) 高校入試や各種調査等で問われる「思考・判断・表現」を問う問題を出題します。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名（題材名）	第0章 算数から数学へ		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見出し表現することができる。	・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見出そうとしている。	
	評価方法	ワークシート 単元テスト 定期テスト	ワークシート	ワークシート	
	評価時期及び評価場面	第2時、第3時	第2時、第3時	第2時、第3時	
4月	単元名（題材名）	第1章 数の世界をひろげよう【正負の数】		指導時数	25
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	・正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 ・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 ・正負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。	・算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。	・正負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト・定期テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第10、11、12時 第23、24、25時	第10、11時 第23、24、25時	第10、11、12時 第23、24、25時	
4月	単元名（題材名）	第7章 データを活用して判断しよう【データの分析と活用】 前半		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	・ヒストグラムや相対度数などの用語を理解している。 ・データを表やグラフに整理することができる。	・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト ワークシート 定期テスト	ワークシート・単元テスト 定期テスト	ワークシート・単元テスト 定期テスト 小テストレポート	
	評価時期及び評価場面	第4、5時 第6時	第4時 第6時	第4、5時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

7月	単元名(題材名)	第2章 数学のことはを身につけよう【文字と式】		指導時数	18
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。 ・文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。	・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。	・文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第8、9時 第14、15、16、17、18時	第9時 第15、16、17、18時	第8、9時 第14、15、16、17時	
9月	単元名(題材名)	第3章 未知の数の求め方を考えよう【方程式】		指導時数	14
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ・簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることことができる。	・等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。	・正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第7、8、9、10時 第11、13、14時	第8、9、10時 第11、14時	第7、8、9、10時 第11、13時	
10月	単元名(題材名)	第4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう【比例・反比例】		指導時数	22
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・関数関係の意味を理解している。 ・比例、反比例について理解している。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	・比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。 ・比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第10、18時 第19、20、21、22時	第19、20、21、22時	第10、18時 第19、20、21時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

12月	単元名(題材名)	第5章 平面図形の見方をひろげよう【平面図形】		指導時数	17
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・平行移動, 対称移動及び回転移動について理解している。 ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	・図形の移動に着目し, 2つの合同な図形の関係について考察し説明することができる。 ・線対称な図形の性質をもとにして, 基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。	・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考えようとしている。 ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト レポート(小さな研究者)	小テスト レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第6、13、17時	第17時	第6、13時	
2月	単元名(題材名)	第6章 空間図形の見方をひろげよう【空間図形】		指導時数	18
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・立体図形の展開図や投影図について理解している。 ・柱体や錐体, 球の表面積と体積を求めることができる。	・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 ・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト ワークシート	単元テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第12、15、17、18時	第15、18時	第12、15、17時	
3月	単元名(題材名)	第7章 データを活用して判断しよう【データの分析と活用】(確率)		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。	・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして, 不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考えようとしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト ワークシート	単元テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第3時	第3時	第3時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	数学
教科担当			
教科書名	東京書籍【新しい数学】		
副 教 材			

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (数学) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価の観点	(1) 数量や図形などについての基礎的な考え方を理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。(知識・技能) (2) 数学を活用して事象を論理的に考え数量や図形の性質を発展的にとらえ事象を的確に表現することができる。(思考力・判断力・表現力) (3) 数学のよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
評価方法	(1) 毎学期の定期テストや単元テスト、小テストの得点、授業中のノートやワークシートの記述を総合して評価します。 (2) 評価の観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」です。 (3) 定期テスト、単元テスト、小テスト後の誤答レポートやその他のレポートを評価基準を元に評価する。

2 (数学) 科の学習について

授業の進め方	(1) 課題を提示し、課題に対して自ら考えたり、級友と考えたりする時間を確保する。 (2) 教師の指示や説明は簡潔にし、対話を重視しながら授業を進めていく。 (3) ICT等を使用し、視覚的に伝わりやすいような提示の仕方を心がける。 (4) きれいな板書に励み、聞くとときと書くときの時間のメリハリをつける。
定期テスト	(1) 授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題されます。 (2) テスト範囲は、定期テスト2週間前までに伝えます。 (3) 高校入試や各種調査等で問われる「思考・判断・表現」を問う問題を出題します。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	第1章 文字式を使って説明しよう【式の計算】		指導時数	15
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第8、9、10、11、12時 第15時	第9、10、11、12時 第15時	第8、9、10、11、12時	
5月	単元名(題材名)	第2章 方程式を利用して問題を解決しよう【連立方程式】		指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第8、9、10、11、12時	第9、10、11、12時	第8、9、10、11時	
7月	単元名(題材名)	第3章 関数を利用して問題を解決しよう【1次関数】		指導時数	19
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・1次関数について理解している。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第10、14、15、16、17時 第19時	第15、16、17時 第19時	第10、14、15、16、17時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

10月	単元名(題材名)	第4章 図形の性質の調べ方を考えよう【平行と合同】		指導時数	14
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれら確かめ、説明することができる。	・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第7、13、14時	第14時	第7、13、14時	
11月	単元名(題材名)	第5章 図形の性質を見つけて証明しよう【三角形と四角形】		指導時数	21
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。	・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第8、19、20、21時	第19、21時	第8、19、20時	
1月	単元名(題材名)	第7章 データを比較して判断しよう【データの比較】		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト・単元テスト 定期テスト ワークシート	単元テスト 定期テスト・ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第3、5時	第3、5時	第3、5時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

2月	単元名(題材名)	第6章 起こりやすさをとらえて説明しよう【確率】		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト ワークシート	ワークシート レポート(小さな研究者)	小テスト ワークシート レポート(小さな研究者)	
	評価時期及び評価場面	第6、8時	第6、8時	第6、8時	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満たす姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	数学
教科担当			
教科書名	東京書籍【新しい数学】		
副 教 材	基礎からの問題集		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (数学) 科の目標と評価について

教科の目標	(1) 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価の観点	(1) 数量や図形などについての基礎的な考え方を理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。(知識・技能) (2) 数学を活用して事象を論理的に考え数量や図形の性質を発展的にとらえ事象を的確に表現することができる。(思考力・判断力・表現力) (3) 数学のよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
評価方法	(1) 毎学期の定期テストや単元テスト、小テストの得点、授業中のノートやワークシートの記述を総括して評価します。 (2) 評価の観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」です。 (3) 定期テスト、単元テスト、小テスト後の誤答レポートやその他のレポートを評価基準を元に評価する。

2 (数学) 科の学習について

授業の方法	(1) 課題を提示し、課題に対して自ら考えたり、級友と考えたりする時間を確保する。 (2) 教師の指示や説明は簡潔にし、対話を重視しながら授業を進めていく。 (3) ICT等を使用し、視覚的に伝わりやすいような提示の仕方を心がける。 (4) きれいな板書に励み、聞くとときと書くときの時間のメリハリをつける。
定期テスト	(1) 授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題されます。 (2) テスト範囲は、定期テスト2週間前までに伝えます。 (3) 高校入試や各種調査等で問われる「思考・判断・表現」を問う問題を出題します。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	1章[多項式]（1. 多項式の計算 2. 因数分解）		指導時数	15
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び乗法公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。		・式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。	
	評価方法	小テスト、単元末テスト 定期テストI		ノート	
	評価時期及び評価場面	小テスト:第15時 単元末テスト:5月末 定期テストI:6月中旬		ノート:第1～14時	
5月	単元名(題材名)	1章[多項式]（3. 式の計算の利用）		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		・既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	・式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法		ワークシート 単元末テスト 定期テストI	ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面		ワークシート:第3～5時 単元末テスト:5月末 定期テストI:6月中旬	ワークシート:第3～5時 単元末レポート:第6時	
6月	単元名(題材名)	2章[平方根]（1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算）		指導時数	15
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・数の平方根の必要性和意味を理解している。 ・有理数,無理数の意味を理解している。 ・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。		・数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。	
	評価方法	小テスト、単元末テスト		ノート	
	評価時期及び評価場面	小テスト:第15時 単元末テスト:8月末		ノート:第1～14時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

7、8月	単元名(題材名)	2章[平方根]（3. 平方根の利用）		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		・これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	・数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法		ワークシート 単元末テスト	ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面		ワークシート:第2時 単元末テスト:8月末	ワークシート:第2時 単元末レポート:第3時	
9月	単元名(題材名)	3章[2次方程式]（1. 2次方程式とその解き方）		指導時数	11
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ・解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ・因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。		・2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	
	評価方法	小テスト、単元末テスト 定期テストⅡ		ノート	
	評価時期及び評価場面	小テスト:第11時 単元末テスト:10月 定期テストⅡ:11月中旬		ノート:第1～10時	
10月	単元名(題材名)	3章[2次方程式]（2. 2次方程式の利用）		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。	・2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法		ワークシート 単元末テスト 定期テストⅡ	ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面		ワークシート:第3～5時 単元末テスト:10月 定期テストⅡ:11月中旬	ワークシート:第3～5時 単元末レポート:第6時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

10月	単元名(題材名)	4章[関数 $y=ax^2$] (1. 関数 $y=ax^2$ 2. 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方)		指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	- 関数 $y=ax^2$について理解している。 - 事象の中には関数$y=ax^2$として捉えられるものがあることを知っている。 - 関数$y=ax^2$を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 - いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。		関数 $y=ax^2$の必要性和意味を考えようとしている。	
	評価方法	小テスト、単元末テスト 定期テストⅡ		ノート	
	評価時期及び評価場面	小テスト:第12時 単元末テスト:11月 定期テストⅡ:11月中旬		ノート:第1~11時	
11月	単元名(題材名)	4章[関数 $y=ax^2$] (3. いろいろな関数の利用)		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		- 関数 $y=ax^2$として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 - 関数 $y=ax^2$を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	- 関数 $y=ax^2$について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 関数 $y=ax^2$を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法		ワークシート 単元末テスト 定期テストⅡ	ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面		ワークシート:第5,6時 単元末テスト:11月 定期テストⅡ:11月中旬	ワークシート:第5,6時 単元末レポート:第7時	
11月	単元名(題材名)	5章[相似な図形] (1. 相似な図形 2. 平行線と比 3. 相似な図形の面積と体積)		指導時数	25
	12月	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	- 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 - 相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 - 基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 - 誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を$a \times 10^n$の形に表現することができる。	- 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 - 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 - 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	- 図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 - 図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	小テスト 単元末テスト	ワークシート 単元末テスト	ノート ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面	小テスト:第18時 単元末テスト:12月	ワークシート:第8時、第24時 単元末テスト:12月	ノート:第1~17時 ワークシート:第8時、第24時 単元末レポート:第25時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

I 月	単元名（題材名）	6 章[円]（1. 円周角の定理）		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	・円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。		・円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。	
	評価方法	小テスト、単元末テスト		ノート	
	評価時期及び評価場面	小テスト：第7時 単元末テスト：1月		ノート：第1～6時	
I 月	単元名（題材名）	① 6 章[円]（2. 円周角の定理の利用）		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）		・円周角と中心角の関係をみいだすことができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	・円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法		ワークシート 単元末テスト	ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面		ワークシート：第3、4時 単元末テスト：1月	ワークシート：第3、4時 単元末レポート：第5時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

1月	単元名(題材名)	7章[三平方の定理]（1. 三平方の定理）		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。		・三平方の定理を見いだそうとしている。	
	評価方法	小テスト、単元末テスト		ノート	
	評価時期及び評価場面	小テスト:第5時 単元末テスト:2月		ノート:第1～4時	
2月	単元名(題材名)	7章[三平方の定理]（2. 三平方の定理の利用）		指導時数	10
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		・三平方の定理を見いだすことができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	・三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法		ワークシート 単元末テスト	ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面		ワークシート:第8,9時 単元末テスト:2月	ワークシート:第8,9時 単元末レポート:第10時	
2月	単元名(題材名)	8章[標本調査]（1. 標本調査 2. 標本調査の利用）		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	・標本調査の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。	・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	・標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ・標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	評価方法	単元末テスト	ワークシート 単元末テスト	ノート ワークシート 単元末レポート	
	評価時期及び評価場面	単元末テスト:2月	ワークシート:第4,5時 単元末テスト:2月	ノート:第1～3時 ワークシート:第4,5時 単元末レポート:第6時	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。